

こま ば の こう えん い く じ し ょ 駒場野公園の育児書

さと ち さと やま ふう けい み ら い
～里地・里山の風景を未来へ～



2021（令和3）年3月

目黒区

本書の作成にあたり

駒場野公園は、1986（昭和 61）年に、筑波へ移転した東京教育大学農学部跡地に誕生した公園です。武蔵野の面影を残し、農学発祥のケルネル田んぼで子供たちが稲作を行うなど、多くのボランティアにより里地・里山の自然の恵みを楽しみながら保全活動が行われています。21 歳にあたる 2007（平成 19）年には、南側に大きな広場が整備され、子供たちのボール遊びなどが出来るようになりました。駒場野公園は今年 34 歳になります。樹木が大木・老齢化し、地面まで光が届かないことや、踏圧により土が固くなるなどの影響が表れてきています。2013（平成 25）年度に策定した「目黒区生物多様性地域戦略」では、里山の環境が残る駒場野公園をいきものとふれあう原体験の場として、地域の学校や様々な団体が関わり、自然と共生するまちづくりの拠点となる「公園未来マップ」を作成しています。

この育児書は、駒場野公園の豊かな里地・里山を未来へ繋ぎ、育てていくために、「公園未来マップ」の実現に向けてまとめたものです。育児書は、公園で活動するボランティアの方だけでなく、これからボランティア活動を始めの方に向けた参考書のようなものになっています。この冊子を片手に、皆さんと一緒に、駒場野公園を育てていきたいと思います。

目黒区都市整備部みどり土木政策課

駒場野公園の育児書

～里地・里山の風景を未来へ～

目 次

駒場野公園の概要・歴史	4
開園から現在まで	5
公園未来マップ	8
未来マップに向けた管理	10
サクラ再生実行計画	11
エリアごとの管理	12
各団体の活動マップ	26
公園に関わる団体の紹介	29
目標指標種について	37

